

幅広く活用される各種粉粒体は、粒子サイズの微小化が進み、ナノスケール（ナノは10億分の1）粒子は研究から実用化の段階に入っている。粒子の微小化は最終製品の品質や価値向上を可能にする。その半面、粒子の凝集や閉塞（へいそく）、架橋などの現象を引き起こし、扱いが難しくなる側面がある。この解消のため、これまで以上に的確な粒子のコントロールが重要視されている。

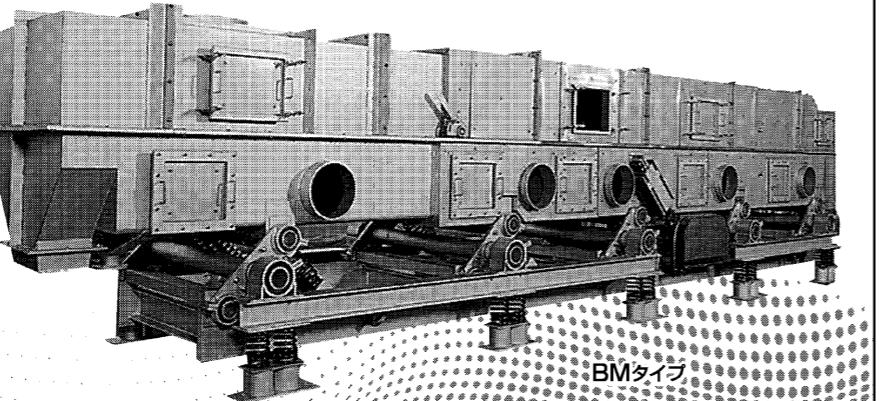
—研究開発の進展が製品の品質・価値向上を支える—

粉粒体計量・計測・制御技術



振動乾燥・冷却装置

振幅・振動数など振動条件を制御して滞留(搬送)時間を自在に調整可能
生産ラインの中で粉粒体をムラなく理想的な乾燥・冷却を実現。
様々な材料の処理に威力を発揮！



シンフォニア テクノロジー 株式会社

振動機営業部

東京本社 ————— 03-5473-1835 03-5473-1847 105-8564 東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー

大阪支社 ————— 06-6365-1927 06-6365-1988 530-0057 大阪市北区曾根崎2-12-7 清和梅田ビル13階

名古屋支社 ————— 052-581-9431 052-582-9667 451-0045 名古屋市西区名駅1-1-17 名駅ダイヤメイテツビル

振動乾燥冷却 検索

的確な粒子コントロールにつなげるため、扱う粒子サイズや用途に応じて各種計量・計測・制御関連機器や装置が用いられることと並行して、計量・計測・制御技術の高精度化の追求が進む。レベル計や定量供給装置などは従来から計量・計測の中心的存在で、レベル計は超音波式やマイクロ波式など非接触計測タイプが、定量供給では微少量の切り出しに威力を発揮するロス・イン・ウエート式などがよく知られている。粉粒体を構成する粒子径分布や形状など物性の計測ではレーザー回折・散乱法や沈降法、電気的検知法などが使い分けら